

青少年の深夜徘徊は危険

青少年の深夜徘徊は、喫煙、飲酒、薬物乱用等の非行の原因につながり、また、不純異性交遊や恐喝、暴行など犯罪被害に遭う危険性が十分にあります。

鹿児島県青少年保護育成条例(以下、条例)第6条では、青少年の深夜徘徊等を防止するため、深夜外出について次

のことを定めています。

- ・保護者は特別な理由がある場合を除いて、深夜(午後11時〜翌日午前4時)に青少年のみで外出させないよう努めなければなりません。
- ・大人は深夜に青少年が保護者の同意を得ないで外出しているときは、早く帰宅するよう指導しなければなりません。また、保護者の同意を得ないで、深夜に青少年を連れ出し、同伴し、またはとどめてはいけません。保護者の同意を得ずに青少年を深夜に連れ出し等した場合は、10万円以下の罰金または科料に処されます。

■**社会全体で取り組みを保護者の皆さんへ**

保護者同伴でも青少年は興行場等(映画館、演劇場、個室等の形態を有したカラオケボックス、インターネットカフェ等)に深夜の立ち入りは出来ません。子どもを連れての度重なる深夜外出は、十分な睡眠がとれないなど生活のリズムが不規則になり、結果的にさまざまな心身の不調を引き起こすおそれがあります。

■**事業者の皆さんへ**

深夜(午後11時〜翌日午前4時)に、その営業する場所に青少年を立ち入らせてはいけません(条例第7条)。

市青少年育成センターでは、社会教育指導員が毎月4回程度市内の各学校周囲の巡回活動を行っています。その際、公園等も巡回しています。がタバコの吸い殻や空き缶等のポイ捨てが無くならない環境を作りましょう。

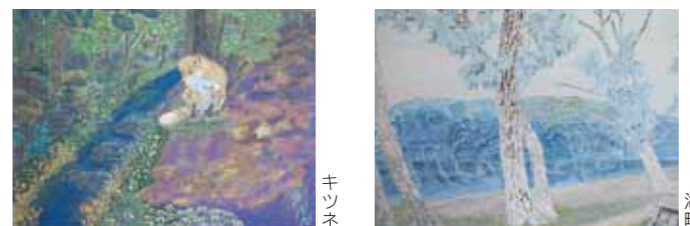
■**問合せ** 青少年育成センター(市民会館内) TEL722-2221

市青少年育成センターの取り組み

市青少年育成センターでは、社会教育指導員が毎月4回程度市内の各学校周囲の巡回活動を行っています。その際、公園等も巡回しています。がタバコの吸い殻や空き缶等のポイ捨てが無くならない環境を作りましょう。

■**問合せ** 青少年育成センター(市民会館内) TEL722-2221

日本画家の柚木イツ子さんが絵画を3点寄贈



本市出身で始良市在住の日本画家、柚木イツ子さんから市に日本画「キツネ」、「犬」、「湖畔」を寄贈していただきました。柚木さんは、県美展や南日本美術展など数々の展覧会に入選されています。作品は今後、南浜館や市役所市民ホール等で展示しますので、ぜひご覧ください。

学校給食センターに学校給食文部科学大臣表彰



11月5日、高知市で全国学校給食研究協議大会が開催され、本市給食センターが学校給食文部科学大臣表彰を受けました。学校給食センターでは、地産地消の推進や給食連絡帳を通じた学校との意見交換など家庭や地域との連携を積極的に行っています。栄養教諭の市来千幸さんは「給食に携わっていただいているすべての方々のおかげです。この賞に恥じないよう、これからも子どもたちに安全・安心なおいしい給食を提供できるように努めていきます」と話していました。

菊を題材に準グランプリ～KKBふるさとCM大賞



県内各市町村が30秒のふるさと自慢CMを競う「第14回ふるさとCM大賞2015」の審査会が11月6日、谷山サザンホールであり、本市の作品「ご先祖様に感謝を込めて」が準グランプリにあたる鹿児島市長会会長賞(副賞として40本のスポット放送)を受賞しました。

ちらしずし&腹皮のピカタ

ちらしずしは、お祝い事の時によく作ります。ピカタは、若い人にもなじみのある調理法だと思うので、ぜひ作ってみてほしいと思います。

上木原 秀子さん(72・木原町)

【ちらしずし】

- 材料**
- | | |
|-------------|---------------|
| ご飯……………1升 | 薄口しょうゆ……180cc |
| 塩……………25g | 干しいたけ……10枚 |
| 砂糖……………250g | かんぴょう……1袋 |
| 酢……………180cc | たけのこ……2本 |
| 地酒……………30cc | ごぼう……2本 |
| 錦糸卵……卵3個分 | にんじん……3本 |
| きざみのり……少々 | つけあげ……5枚 |
| でんぶ……少々 | かまぼこ……半分 |
| 三温糖……適量 | つけもの……適量 |
| みりん……適量 | グリーンピース……適量 |

●**作り方**

- ①干しいたけを水にもどす。
- ②しいたけのもどし汁に薄口しょうゆ、三温糖、みりんを入れ、もどしたいたけ、かんぴょう、たけのこ、ごぼう、にんじん、つけあげ、かまぼこを煮込む。
- ③塩、砂糖、酢を火にかけ、沸騰する前に火を止める。
- ④ご飯に③を加えて混ぜ、次に②とつけもの、グリーンピースを入れ、混ぜてから地酒をふりかける。
- ⑤④に錦糸卵、きざみのり、でんぶを盛り付けて出来上がり。

【腹皮のピカタ】

- 材料**
- | | |
|-------------|-----------|
| 腹皮……………200g | 小麦粉……大さじ3 |
| 酒……………大さじ1 | 溶き卵……卵2個分 |
| 塩こしょう……適量 | ごま油……適量 |

●**作り方**

- ①腹皮を水で洗ってから酒をふりかけ、塩こしょうをふる。
- ②①に小麦粉をまぶし、溶き卵にくぐらせる。
- ③熱したフライパンにごま油を入れ、②を焼いたら出来上がり。



■**DV問題の根絶を目指して**

11月12日から25日の「女性に対する暴力根絶運動のシンボルであるパープルリボン」を飾ってもらうことで、DV問題について考えてもらおうと実施したもので、100本を超えるリボンが多くの方の手によって掛けられました。また、さらなる意識啓発を図るため、DV対策のリーフレットやパープルリボンバツジと相談機関カードをセットにしたものをツリー横に設置しました。

■**「あなたはひとりではないよ」と伝えることが大事**

平成23年度に本市が行った男女共同参画に関する市民意識調査の中で、次の4つの行為を配偶者から受けたことがあるかを質問しました。

- ・なぐったり、物を投げたりするなどの身体に対する暴力
- ・人格を否定するような暴言などの精神的嫌がらせ
- ・危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫
- ・性的な行為の強要

いずれか1つでも「経験がある」と回答した方が3割を超えました。

その一方で、被害を受けた時の相談先については、「誰にも相談しなかった(できなかった)」と回答した方が7割と最も多く、声を上げることのできない潜在的な被害者の支援が課題となっています。

市では、パープルリボンバツジの設置やパープルリボンバツジの配布などの活動を通して、パープルリボンに込められる「あなたはひとりではないよ」のメッセージを多くの方に発信していきます。

